

09/8/8.558

(translation of the front page of the priority document of  
Japanese Patent Application No. 2000-092158)



PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the  
following application as filed with this Office.

Date of Application: March 29, 2000

Application Number : Patent Application 2000-092158

Applicant(s) : Canon Kabushiki Kaisha

April 20 2001

Commissioner,  
Patent Office

Kouzo OIKAWA

RECEIVED  
JUN 5 2001  
Technology Center 2100

Certification Number 2001-3033068

CFM 2162-115  
09/818.558



日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日  
Date of Application:

2000年 3月29日

出願番号  
Application Number:

特願2000-092158

出願人  
Applicant(s):

キヤノン株式会社

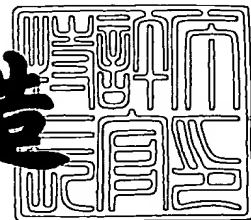
RECEIVED  
JUN 5 2001  
Technology Center 2100



2001年 4月20日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3033068

【書類名】 特許願

【整理番号】 4150006

【提出日】 平成12年 3月29日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06T 1/00

【発明の名称】 画像処理装置およびその制御方法

【請求項の数】 12

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社  
社内

    【氏名】 引地 幸吉

【特許出願人】

    【識別番号】 000001007

    【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100076428

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 大塚 康德

    【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

    【識別番号】 100101306

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 丸山 幸雄

    【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

    【識別番号】 100115071

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 大塚 康弘

    【電話番号】 03-5276-3241

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003458

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0001010

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像処理装置およびその制御方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワーク接続手段と、

ネットワーク接続手段を介して外部の W e b クライアント手段からアクセス可能である W e b サーバ手段と、

画像データを格納する画像格納手段と、

画像処理の実行状態を示す状態データを記憶する状態記憶手段と、

前記 W e b クライアントからの指定に応じて、前記画像格納手段に格納された画像データあるいは前記状態記憶手段に記憶された状態データを操作する操作手段と

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】 前記操作手段は、前記画像格納手段に格納された画像データのうち、前記 W e b クライアントにより選択された画像データを、前記 W e b クライアントにより指定された宛先に送信することを特徴とする請求項 1 に記載に画像処理装置。

【請求項 3】 前記操作手段は、前記状態記憶手段に格納された実行状態のうちで選択された画像データの送信先を編集することを特徴とする請求項 1 に記載に画像処理装置。

【請求項 4】 前記操作手段は、前記状態記憶手段に格納された実行状態のうちで選択された画像データを再度送信することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載に画像処理装置。

【請求項 5】 前記操作手段は、前記状態記憶手段に格納された実行状態のうちで選択された画像データを削除することを特徴とする請求項 1 に記載に画像処理装置。

【請求項 6】 ネットワーク接続手段を介して外部の W e b クライアント手段からアクセス可能である W e b サーバ手段と、画像データを格納する画像格納手段とを有する画像処理装置の制御方法であって、

画像処理の実行状態を示す状態データを記憶する状態記憶工程と、

前記W e bクライアントからの指定に応じて、前記画像格納手段に格納された画像データあるいは前記状態記憶手段に記憶された状態データを操作する操作工程とを含むことを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 7】 前記操作工程は、前記画像格納手段に格納された画像データのうち、前記W e bクライアントにより選択された画像データを、前記W e bクライアントにより指定された宛先に送信することを特徴とする請求項 6 に記載に画像処理装置の制御方法。

【請求項 8】 前記操作工程は、前記状態記憶工程により格納された実行状態のうちで選択された画像データの送信先を編集することを特徴とする請求項 6 に記載に画像処理装置の制御方法。

【請求項 9】 前記操作工程は、前記状態記憶工程により格納された実行状態のうちで選択された画像データを再度送信することを特徴とする請求項 6 乃至 8 のいずれか 1 項に記載に画像処理装置の制御方法。

【請求項 1 0】 前記操作手段は、前記状態記憶工程により格納された実行状態のうちで選択された画像データを削除することを特徴とする請求項 6 に記載に画像処理装置の制御方法。

【請求項 1 1】 画像処理装置とW e bクライアントとを含むネットワークシステムであって、

前記画像処理装置は、

ネットワーク接続手段と、

ネットワーク接続手段を介して外部のW e bクライアント手段からアクセス可能であるW e bサーバ手段と、

画像データを格納する画像格納手段と、

画像処理の実行状態を示す状態データを記憶する状態記憶手段と、

前記W e bクライアントからの指定に応じて、前記画像格納手段に格納された画像データあるいは前記状態記憶手段に記憶された状態データを操作する操作手段と

を備えることを特徴とするネットワークシステム。

【請求項 1 2】 ネットワーク接続手段を介して外部のW e bクライアント

手段からアクセス可能であるWebサーバ手段と、画像データを格納する画像格納手段とを有するコンピュータにより、

画像処理の実行状態を示す状態データを記憶する状態記憶工程と、

前記Webクライアントからの指定に応じて、前記画像格納手段に格納された画像データあるいは前記状態記憶手段に記憶された状態データを操作する操作工程と

を実行するためのコンピュータプログラムを格納することを特徴とするコンピュータ可読記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えばネットワークに接続されたデジタル複合機等の画像処理装置およびその制御方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

画像処理装置内のジョブ状況や履歴状況を装置内部に保存し、複数の情報の中から自分の要求したジョブを見つけ出し、内容を把握できる画像処理装置も提案されている（例えば特開平11-289413）。

【0003】

しかし、ジョブ内容を参照や操作する際に、これまでは画像処理装置に付属の小さな操作画面を使って操作しなければならず、入力や詳細内容の確認など、不自由であった。

【0004】

また、装置内にWebサーバを埋め込み、ネットワークを介して、装置内の制御機能へアクセスできる機能をもった画像処理装置が提案されている（例えば、特開平10-254806）。これにより、より大きい表示手段やより多くの入力手段をもったWebクライアントから画像処理装置内のジョブ情報を閲覧することができ、停止や削除を行うことができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、画像処理装置によって、通信回線で接続されたプリンタ等に別途生成した画像を含むリモートコピージョブなどを送信して実行させる場合、すでに終了してしまったジョブの再送信や停止中のジョブの宛先を変更したりするには、画像処理装置をユーザが直接操作する必要がある。同様に、受信したFAX画像データなどが画像処理装置内に保存されている場合にその画像を転送するには、画像処理装置上の操作手段をユーザが操作する必要がある。

【0006】

本発明は上記従来例に鑑みてなされたもので、ネットワークを介して、Webクライアントからジョブ状況や履歴状況を参照し、それらを操作できる画像処理装置およびその制御方法を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明は次の様な構成からなる。すなわち、

ネットワーク接続手段と、

ネットワーク接続手段を介して外部のWebクライアント手段からアクセス可能であるWebサーバ手段と、

画像データを格納する画像格納手段と、

画像処理の実行状態を示す状態データを記憶する状態記憶手段と、

前記Webクライアントからの指定に応じて、前記画像格納手段に格納された画像データあるいは前記状態記憶手段に記憶された状態データを操作する操作手段とを備える。

【0008】

さらに好ましくは、前記操作手段は、前記画像格納手段に格納された画像データのうち、前記Webクライアントにより選択された画像データを、前記Webクライアントにより指定された宛先に送信する。

【0009】

さらに好ましくは、前記操作手段は、前記状態記憶手段に格納された実行状態のうちで選択された画像データの送信先を編集する。



【0 0 1 0】

さらに好ましくは、前記操作手段は、前記状態記憶手段に格納された実行状態のうちで選択された画像データを再度送信する。

【0 0 1 1】

さらに好ましくは、前記操作手段は、前記状態記憶手段に格納された実行状態のうちで選択された画像データを削除する。

【0 0 1 2】

【発明の実施の形態】

図 1 は本発明に係る画像処理装置 1 0 0 の構成を表すブロック図である。

【0 0 1 3】

図 1 において、3 0 0 はネットワークである。ネットワーク 3 0 0 には画像処理装置 1 0 0 が接続されている。この中に含まれている、1 1 0 はネットワーク接続手段、1 2 0 は Web サーバ手段、1 3 0 はアドレスブックデータベース手段、1 4 0 はコントローラ手段、1 5 0 はユーザインターフェース手段、1 6 0 はプリント手段、1 7 0 はスキャン手段である。また、ネットワーク 3 0 0 には PC (パーソナルコンピュータ) 2 0 0 が接続している。この中には、ネットワーク接続手段 2 1 0 と、Web クライアント 2 2 0 が含まれている。また、コントローラ 1 4 0 には、装置全体を制御するための CPU 1 4 0 1, メモリ 1 4 0 2、さらにデータファイルやプログラムファイルを格納するための外部記憶 1 4 0 3 が含まれる。外部記憶 1 4 0 3 としては、固定媒体の他、リムーバブル媒体を使用する機器も利用される。

【0 0 1 4】

ネットワーク接続手段 1 1 0 は、ネットワーク 3 0 0 に接続され、ネットワークとの間でデータの送受信を行う。

【0 0 1 5】

Web サーバ手段 1 2 0 は、HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) による通信が可能なサーバで、HTTP の内容に対応して動作する。

【0 0 1 6】

アドレスブックデータベース手段 1 3 0 は、コントローラから転送する画像デ

ータの宛先が含まれたデータベースで、ユーザインターフェース150によって、宛先を選択できる。

#### 【0017】

コントローラ手段140は、スキャン手段150から画像データをとったり、プリント手段160に出力したりする。また、ネットワーク接続手段110を介して、他の画像出力装置を宛先として取得した画像データを転送して出力したり、サーバを宛先として転送してサーバのデータベースに保存することもできる。

#### 【0018】

##### [システム全体]

図1の画像処理装置が接続されたネットワークシステム全体の構成図を図10に示す。1001は画像処理装置で、後述するスキャナとプリンタから構成され、スキャナから読み込んだ画像をローカルエリアネットワーク1010（以下LAN）に流したり、LANから受信した画像をプリンタによりプリントアウトできる。また、スキャナから読んだ画像を図示しないFAX送信手段により、PSTNまたはISDN1030に送信したり、PSTNまたはISDNから受信した画像をプリンタによりプリントアウトできる。1002は、データベースサーバで、画像処理装置1001により読み込んだ2値画像及び多値画像をデータベースとして管理する。1003は、データベースサーバ1002のデータベースクライアントで、データベース1002に保存されている画像データを閲覧／検索等できる。1004は、電子メールサーバで、画像処理装置1001により読み込んだ画像を電子メールの添付として受け取ることができる。1005は、電子メールのクライアントで、電子メールサーバ1004の受け取ったメールを受信し閲覧したり、電子メールを送信したり、可能である。1006がHTML文書をLANに提供するWWWサーバで、画像処理装置1001によりWWWサーバで提供されるHTML文書をプリントアウトできる。1007は、ルータでLAN1010をインターネット／イントラネット1012と連結する。インターネット／イントラネットに、前述したデータベースサーバ1002、WWWサーバ1006、電子メールサーバ1004、画像処理装置1001と同様の装置が、それぞれ1020、1021、1022、1023として連結している。一方

、画像処理装置 1 0 0 1 は、P S T N または I S D N 1 0 3 0 を介して、F A X 装置 1 0 3 1 と送受信可能になっている。また、L A N 上にプリンタ 1 0 4 0 も連結されており、画像処理装置 1 0 0 1 により読み取った画像をプリントアウト可能なように構成されている。

#### 【 0 0 1 9 】

またインターネット／イントラネット 1 0 1 2 には、ウェブクライアント 2 2 0 を含むパーソナルコンピュータ 2 0 0 が接続されている。

#### 【 0 0 2 0 】

##### [ソフトウェアブロック全体構成]

図 1 1 は、画像処理装置 1 0 0 のソフトウェアブロック図である。

#### 【 0 0 2 1 】

1 5 0 1 はユーザインターフェイスであり、オペレータが本複合機の各種操作・設定を行う際、機器との仲介を行うモジュールである。本モジュールは、オペレータの操作に従い、後述の各種モジュールに入力情報を転送し処理の依頼、或いはデータの設定等を行う。

#### 【 0 0 2 2 】

1 5 0 2 はAddress-Book即ちデータの送付先、通信先等を管理するデータベースモジュールである。Address-Bookの内容は、U I 1 5 0 1 からの操作によりデータの追加、削除、取得が行われ、オペレータの操作により後述の各モジュールにデータの送付・通信先情報を与えるものとして使用されるものである。

#### 【 0 0 2 3 】

1 5 0 3 はWeb-Serverモジュールであり、図外のW e b クライアントからの要求により、本複合機の管理情報を通知するために使用される。管理情報は、後述のControll-API 1 5 1 8 を介して読み込まれ、後述のH T T P 1 5 1 2、T C P / I P 1 5 1 6、Network-Driver 1 5 1 7 を介してW e b クライアントに通知される。

#### 【 0 0 2 4 】

1 5 0 4 はUniversal-Send即ち、データの配信を司るモジュールであり、U I 1 5 0 1 によりオペレータに指示されたデータを、同様に指示された通信出力先

に配布するものである。また、オペレータにより、本機器のスキナ機能を使用し配布データの生成が指示された場合は、後述のControl-API 1 5 1 8 を介して機器を動作させ、データの生成を行う。

【 0 0 2 5 】

1 5 0 5 は Universal-Send 1 5 0 4 内で出力先にプリンタが指定された際に実行されるモジュールである。

【 0 0 2 6 】

1 5 0 6 は Universal-Send 1 5 0 4 内で通信先にE-mailアドレスが指定された際に実行されるモジュールである。

【 0 0 2 7 】

1 5 0 7 は Universal-Send 1 5 0 4 内で出力先にデータベースが指定された際に実行されるモジュールである。

【 0 0 2 8 】

1 5 0 8 は Universal-Send 1 5 0 4 内で出力先に本機器と同様の複合機が指定された際に実行されるモジュールである。

【 0 0 2 9 】

1 5 0 9 は Remote-Copy-Scan モジュールであり、本複合機のスキナ機能を使用し、ネットワーク等で接続された他の複合機を出力先とし、本複合機単体で実現している Copy 機能と同等の処理を行うモジュールである。

【 0 0 3 0 】

1 5 1 0 は Remote-Copy-Print モジュールであり、本複合機のプリンタ機能を使用し、ネットワーク等で接続された他の複合機を入力先とし、本複合機単体で実現している Copy 機能と同等の処理を行うモジュールである。

【 0 0 3 1 】

1 5 1 1 は Web-Pull-Print、即ちインターネットまたはイントラネット上の各種ホームページの情報を読み出し、印刷するモジュールである。

【 0 0 3 2 】

1 5 3 0 は LogManager 即ち機器内で発生したジョブの記録を保存するモジュールである。

【 0 0 3 3 】

1 5 1 2 は本複合機が H T T P により通信する際に使用されるモジュールであり、後述の T C P / I P 1 5 1 6 モジュールにより前述の Web-Server 1 5 0 3、Web-Pull-Print 1 5 1 1 モジュールに通信を提供するものである。

【 0 0 3 4 】

1 5 1 3 は l p r モジュールであり、後述の T C P / I P 1 5 1 6 モジュールにより前述の Universal-Send 1 5 0 4 内のプリンタモジュール 1 5 0 5 に通信を提供するものである。

【 0 0 3 5 】

1 5 1 4 は S M T P モジュールであり、後述の T C P / I P 1 5 1 6 モジュールにより前述 Universal-Send 1 5 0 4 内の E-mail モジュール 1 5 0 6 に通信を提供するものである。

【 0 0 3 6 】

1 5 1 5 は S L M 即ち、Salutation-Manager モジュールであり、後述の T C P / I P 1 5 1 6 モジュールにより前述の Universal-Send 5 0 4 内のデータベースモジュール 1 5 0 7、D P モジュール 1 5 0 8、及び Remote-Copy-Scan 1 5 0 9 モジュール、Remote-Copy-Print 1 5 1 0 モジュールに通信を提供するものである。

【 0 0 3 7 】

1 5 1 6 は T C P / I P 通信モジュールであり、前述の各種モジュールに後述の Network-Driver によりネットワーク通信を提供するものである。

【 0 0 3 8 】

1 5 1 7 はネットワークドライバであり、ネットワークに物理的に接続される部分を制御するものである。

【 0 0 3 9 】

1 5 1 8 は Controll-API であり、Universal-Send 1 5 0 4 等の上流モジュールに対し、後述の Job-Manager 1 5 1 9 等の下流モジュールとのインターフェイスを提供するものであり、上流、及び下流のモジュール間の依存関係を軽減しそれぞれの流用性を高めるものである。

【 0 0 4 0 】

1 5 1 9 は Job-Manager であり、前述の各種モジュールより Controll-API 1 5 1 8 を介して指示される処理を解釈し、後述の各モジュールに指示を与えるものである。また、本モジュールは、本複合機内で実行されるハード的な処理を一元管理するものである。さらに機器内で実行中のジョブを管理し、ジョブ一覧取得の要求があった場合には一覧を作成する。

【 0 0 4 1 】

1 5 2 0 は CODEC-Manager であり、Job-Manager 1 5 1 9 が指示する処理の中でデータの各種圧縮・伸長を管理・制御するものである。

【 0 0 4 2 】

1 5 2 1 は FBE-Encoder であり、Job-Manager 1 5 1 9、Scan-Manager 1 5 2 4 により実行されるスキャン処理により読み込まれたデータを F B E フォーマットにより圧縮するものである。

【 0 0 4 3 】

1 5 2 2 は JPEG-CODEC であり、Job-Manager 1 5 1 9、Scan-Manager 1 5 2 4 により実行されるスキャン処理、及び Print-Manager 1 5 2 6 により実行される印刷処理において、読み込まれたデータの J P E G 圧縮及び印刷データの J P E G 展開処理を行うものである。

【 0 0 4 4 】

1 5 2 3 は MMR-CODEC であり、Job-Manager 1 5 1 9、Scan-Manager 1 5 2 4 により実行されるスキャン処理、及び Print-Manager 1 5 2 6 により実行される印刷処理において、読み込まれたデータの M M R 圧縮及び印刷データの M M R 伸長処理を行うものである。

【 0 0 4 5 】

1 5 2 4 は Scan-Manager であり、Job-Manager 1 5 1 9 が指示するスキャン処理を管理・制御するものである。

【 0 0 4 6 】

1 5 2 5 は S C S I ドライバであり、Scan-Manager 1 5 2 4 と本複合機が内部的に接続しているスキャナ部との通信を行うものである。

【0047】

1526はPrint-Managerであり、Job-Manager1519が指示する印刷処理を管理・制御するものである。

【0048】

1527はEngine-I/Fドライバであり、Print-Manager1526と印刷部とのI/Fを提供するものである。

【0049】

1528はパラレルポートドライバであり、Web-Pull-Print1511がパラレルポートを介して図外の出力機器にデータを出力する際のI/Fを提供するものである。

【0050】

[ユーザインターフェースアプリケーション]

次にAddress Book1502について説明する。このAddress Book1502は、画像処理装置100内の不揮発性の記憶装置（不揮発性メモリやハードディスクなど）に保存されており、この中には、ネットワークに接続された他の機器の特徴が記載されている。例えば、以下に列挙するようなものが含まれている。

【0051】

機器の正式名やエイリアス名

機器のネットワークアドレス

機器の処理可能なネットワークプロトコル

機器の処理可能なドキュメントフォーマット

機器の処理可能な圧縮タイプ

機器の処理可能なイメージ解像度

プリンター機器の場合の給紙可能な紙サイズ、給紙段情報

サーバー（コンピューター）機器の場合のドキュメントを格納可能なフォルダ名

以下に説明する各アプリケーションは、上記Address Book1502に記載された情報により配信先の特徴を判別することが可能となる。

【0052】

このaddress Book 1 5 0 2 を参照して、画像処理装置 1 0 0 はデータを送信することができる。例えば、リモートコピーアプリケーションは、配信先に指定された機器の処理可能な解像度情報を前記Address Book 1 5 0 2 より判別し、それに従い、スキャナにより読み込まれた画像 2 値画像を公知のMMR圧縮を用いて圧縮し、それを公知のT I F F (Tagged Image File Fomat) 化し、S L M 4 1 0 3 に通して、ネットワーク上のプリンタ機器に送信する。S L M 4 1 0 3 とは、詳細には説明しないが、公知のSalutation Manager (または、Smart Link Manager) と呼ばれる機器制御情報などを含んだネットワークプロトコルの一種である。

## 【 0 0 5 3 】

## 〔操作部概要〕

操作部の構成を図 1 2 に示す。LCD 表示部 ( 3 0 0 1 ) は、LCD 上にタッチパネルシートが貼られており、システムの操作画面を表示するとともに、表示してあるキーが押されるとその位置情報をコントローラCPUに伝える。スタートキー ( 3 0 0 2 ) は原稿画像の読取り動作を開始する時などに用いる。スタートキー中央部には、緑と赤の 2 色LEDがあり、その色によってスタートキーが使える状態にあるかどうかを示す。ストップキー ( 3 0 0 3 ) は稼働中の動作を止める働きをする。IDキー ( 3 0 0 4 ) は使用者のユーザーIDを入力するときに用いる。リセットキー ( 3 0 0 5 ) は操作部からの設定を初期化するときに用いる。

## 【 0 0 5 4 】

以下で操作部の各画面について詳細に説明する。

## 【 0 0 5 5 】

## 〔操作画面〕

画像処理装置が提供する機能は、図 1 3 に示すように、Copy/Send/Retrieve/ Tasks/Management/Configurationの 6 つの大きなカテゴリーに分かれており、これらは操作画面 ( 3 0 1 0 ) 上の上部に表示される 6 つのメインタブ (COPY/SEND/RETRIEVE/TASKS/MGMT/CONFIG) ( 3 0 1 1 ~ 3 0 1 6 ) に対応している。これらのメインタブを押すことにより、各カテゴリーの画面への切り替え



が行われる。他カテゴリへの切り換えが許可されない場合は、メインタブの表示色が変わり、メインタブを押しても反応しない。

## 【 0 0 5 6 】

Copyは自機が有するスキャナとプリンタを使用して通常のドキュメント複写を行う機能と、自機が有するスキャナとネットワークで接続されたプリンタを使用してドキュメントの複写を行う機能（リモートコピー）を含む。Sendは自機が有するスキャナに置かれたドキュメントを、電子メール、リモートプリンタ、ファックス、ファイル転送（FTP）およびデータベースに転送する機能であり、宛先を複数指定することが可能である。Retrieveは外部にあるドキュメントを取得し、自機が有するプリンタで印刷する機能である。ドキュメントの取得手段としてWWW、電子メール、ファイル転送およびファックスの使用が可能である。Tasksはファックスやインターネットプリントなどの外部から送られるドキュメントを自動処理し、定期的にRetrieveを行うためのタスクの生成、管理を行う。Managementはジョブ・アドレス帳・ブックマーク・ドキュメントアカウント情報などの管理を行う。Configurationでは自機に関しての設定（ネットワーク、時計など）を行う。

## 【 0 0 5 7 】

次に、Webクライアント上で表示される画面の説明をする。

## 【 0 0 5 8 】

## 〔送信ジョブ状況画面〕

図2は送信ジョブ状況画面である。画像処理装置内に残っている送信ジョブはWebクライアントからリストとして閲覧できる。選択チェックボックスをクリックして操作したいジョブを選択する。タイマー送信で待機中のジョブの送信宛先を変更したり、ジョブをキャンセルしたりすることができる。

## 【 0 0 5 9 】

## 〔送信ジョブ履歴画面〕

図3は送信ジョブ履歴画面である。画像処理装置で処理された画像送受信ジョブがリストとして閲覧できる。エラーで終了したジョブを再起動して再度送信したり、履歴内容を他人に見られたくない場合には削除することもできる。

## 【 0 0 6 0 】

## [ボックス内画像一覧表示]

図 4 はボックス内画像一覧表示画面である。F A X 受信画像など画像処理装置内に保存された画像データは B O X と呼ばれる記憶手段を通して閲覧、操作できる。ボックス内画像一覧では画像データの発生元やページ数などを確認できる。

## 【 0 0 6 1 】

画像処理装置内のデータをネットワーク上の宛先に送信したいときには、操作したい画像を選択チェックボックスでチェックした後、転送ボタンをクリックする。続いてボックス内画像転送画面（図 5）が表示される。

## 【 0 0 6 2 】

## [ボックス内画像転送画面]

図 5 はボックス内画像転送画面である。宛先表ボタンをクリックして所望の宛先を選択した後、画像の転送ボタンをクリックする。ユーザは画像処理装置から離れた場所にいながら画像データを取得することが可能である。例えば、宛先を自分の電子メールアドレスにしておけばボックス内の画像データを添付ファイルとして取得することができる。

## 【 0 0 6 3 】

## [送信処理]

図 6 は、画像処理装置内のボックスに保管された文書を W e b クライアントをつかって任意の宛先に送信する一連の動作を示すフローチャートである。なお、以下の説明では P C 2 0 0 あるいはそれに含まれる W e b クライアントを単にクライアントと呼んだり、また、画像処理装置 1 0 0 あるいはそれに含まれる W e b サーバを単にサーバと呼ぶこともある。

## 【 0 0 6 4 】

6 0 1 でユーザの操作により、W e b クライアントから画像処理装置 1 0 0 内の W e b サーバに接続する。

## 【 0 0 6 5 】

6 0 2 でユーザが B O X パスワードを入力すると、画像処理装置 1 0 0 のサーバはそのクライアントに文書进行操作する権限があることを確認する。

【0066】

603で、サーバはBOX内に保存された文書の一覧をHTML文書としてクライアントに送信する。クライアントの画面にはそれが表示される。

【0067】

604でユーザが表示画面の中から文書を選択すると、それがサーバに送信される。

【0068】

605で、ステップ603で表示された画面に従ってユーザがネットワーク上の送信先を選択あるいは新規入力すると、それがサーバに送信される。

【0069】

606で、ユーザが送信を指示すると、クライアントからこの指示がサーバに送信され、サーバは選択された送信先に選択された文書を送信する。

【0070】

601, 602, 604, 605, 606の処理はすべてユーザがWebクライアントから行った操作に応じて実行され、ユーザは画像処理装置を直接操作する必要はない。

【0071】

〔宛先変更処理手順〕

図7は画像処理装置内で実行されている送信ジョブの宛先変更の動作を示すフローチャートである。

【0072】

701でサーバは送信ジョブを実行する。決まった時間に送信する場合などには、ユーザは送信文書と送信先を指定して装置から離れてしまっている場合がある。

【0073】

702で、Webクライアントからのユーザの操作に応じて、画像処理装置内の実行待ちジョブの一覧をHTML文書としてWebクライアントに送信し、クライアントではそれを受信して表示する。ユーザはそれを見てジョブの状態の確認や宛先の再確認をすることができる。

【0074】

703で宛先を変更する場合には、704で、ユーザが表示された一覧から例えば実行待ち中のジョブを指定してそのジョブの送信先を変更する。変更されたデータはサーバに送信され、サーバはそのデータによってジョブの宛先データを更新する。

【0075】

705で指定したジョブの文書を他の送信先にも送りたい場合には、ユーザは送信先を追加する。追加された宛先データはクライアントからサーバに送信される。サーバはそのデータを受信して宛先データを更新する。

【0076】

以上のように、ユーザがWebクライアントから宛先変更操作を実行することで、画像処理装置を直接操作することなしにジョブの宛先を変更することができる。

【0077】

〔再実行処理手順〕

図8は終了後の送信ジョブを再実行する動作を示すフローチャートである。

【0078】

801でWebサーバは送信ジョブを実行する。送信に時間のかかるジョブでは、ユーザは送信文書と送信先を指定して装置から離れてしまう場合がある。

【0079】

802でユーザがWebクライアントから実行終了したジョブを閲覧する要求をサーバに出すと、サーバは実行終了したジョブの一覧（履歴）のHTMLファイルをWebクライアントに送信する。クライアントはそれ受信してジョブ履歴を表示する。ユーザはこれによりジョブの終了状態の確認ができる。

【0080】

ユーザは、例えば送信が失敗したジョブに対して、803で宛先を間違えていたことを確認すると、804で宛先を変更する。クライアントは変更された宛先データをサーバに送信する。サーバはこれを受信すると、送信宛先データを更新する。なお、ファックス通話中など話中など何らかの原因で失敗したものに対し

ては宛先はそのままにかまわない。

【0081】

805で、ユーザが再実行したいジョブを再度送信実行する旨指示すると、サーバはこれを受けて指定されたジョブを指定された宛先に再度送信する。

【0082】

以上をWebクライアントから実行することで、画像処理装置を直接操作することなしにジョブの再実行をすることができる。

【0083】

[処理済みジョブ削除処理手順]

図9は終了後の送信ジョブを削除する動作を示すフローチャートである。

【0084】

901でWebサーバは送信ジョブを実行する。送信に時間のかかるジョブでは、ユーザは送信文書と送信先を指定して装置から離れてしまう場合がある。

【0085】

902でユーザがWebクライアントから実行終了したジョブを閲覧する要求をサーバに出すと、サーバは実行終了したジョブの一覧(履歴)のHTMLファイルをWebクライアントに送信する。クライアントはそれ受信してジョブ履歴を表示する。ユーザはこれによりジョブの終了状態の確認ができる。

【0086】

ユーザは、例えば送信が完了したジョブに対して、903でそのジョブを削除することを確認すると、904でジョブを選択して削除する旨入力する。クライアントは選択されたジョブを削除する旨を示すデータをサーバに送信する。サーバはこれを受信すると、選択されたジョブを履歴から削除する。

【0087】

905で、サーバは更新された削除されたジョブを除いた履歴データをクライアントに送信し、クライアントはそれを表示する。。

【0088】

以上をWebクライアントから実行することで、画像処理装置を直接操作することなしに処理済みのジョブを削除することができる。

## 【 0 0 8 9 】

以上のように、本発明に係る画像処理装置は、Webサーバを備え、Webクライアントからの要求に応じてボックス内のデータやジョブの状態、ジョブの履歴をクライアントに送信して表示させることができる。また、クライアントは、表示された情報に応じて、ジョブの送信先の指定やジョブの送信の指示、送信済みジョブの履歴からの削除の指示を、サーバに送信することができる。サーバは、クライアントからの指示に応じて、それが保持する宛先情報や履歴情報を更新する。

## 【 0 0 9 0 】

こうして、ユーザはWebクライアントからネットワークを介して画像処理装置内のジョブ状況、履歴状況を参照し、それら进行操作できることで、画像処理装置から離れた場所でもジョブの操作が可能になる。

## 【 0 0 9 1 】

また、履歴情報を削除できることで、他人に知られたくない履歴情報を任意の時点で消去できる。

## 【 0 0 9 2 】

また、画像処理装置内に保存されている画像データをWebクライアントから任意の宛先に送信可能にしたことで、画像処理装置から離れた場所でも画像データを取得、配布できる。

## 【 0 0 9 3 】

## 【他の実施形態】

なお、本発明は、複数の機器（例えばホストコンピュータ、インタフェイス機器、リーダ、プリンタなど）から構成されるシステムに適用しても、一つの機器からなる装置（例えば、複写機、ファクシミリ装置など）に適用してもよい。

## 【 0 0 9 4 】

また、本発明の目的は、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体（または記録媒体）を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（またはCPUやMPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても

、達成されることは言うまでもない。この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているオペレーティングシステム（OS）などが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれる。

【0095】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張カードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張カードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれる。

【0096】

【発明の効果】

以上説明したように、ネットワークを介して、Webクライアントから、画像処理装置内のジョブ状況、履歴状況を参照し、それら进行操作できることで、画像処理装置から離れた場所でもジョブの操作が可能になる。

【0097】

また、履歴情報を削除できることで、他人に知られたくない履歴情報をWebクライアントから任意の時点で消去できる。

【0098】

また、画像処理装置内に保存されている画像データをWebクライアントから任意の宛先に送信可能にしたことで、画像処理装置から離れた場所でも画像データを取得、配布できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

画像処理全体ブロック図である。

【図 2】

送信ジョブ状況画面を示す図である。

【図 3】

送信ジョブ履歴画面を示す図である。

【図 4】

ボックス内画像一覧表示画面を示す図である。

【図 5】

ボックス内画像転送画面を示す図である。

【図 6】

ボックス内文書転送処理のフローチャートである。

【図 7】

送信ジョブの宛先変更処理のフローチャートである。

【図 8】

終了後のジョブの再実行処理のフローチャートである。

【図 9】

終了後のジョブの削除処理のフローチャートである。

【図 1 0】

ネットワークシステム全体の構成図である。

【図 1 1】

本システムのソフトウェアの全体構成図である。

【図 1 2】

操作部全体図である。

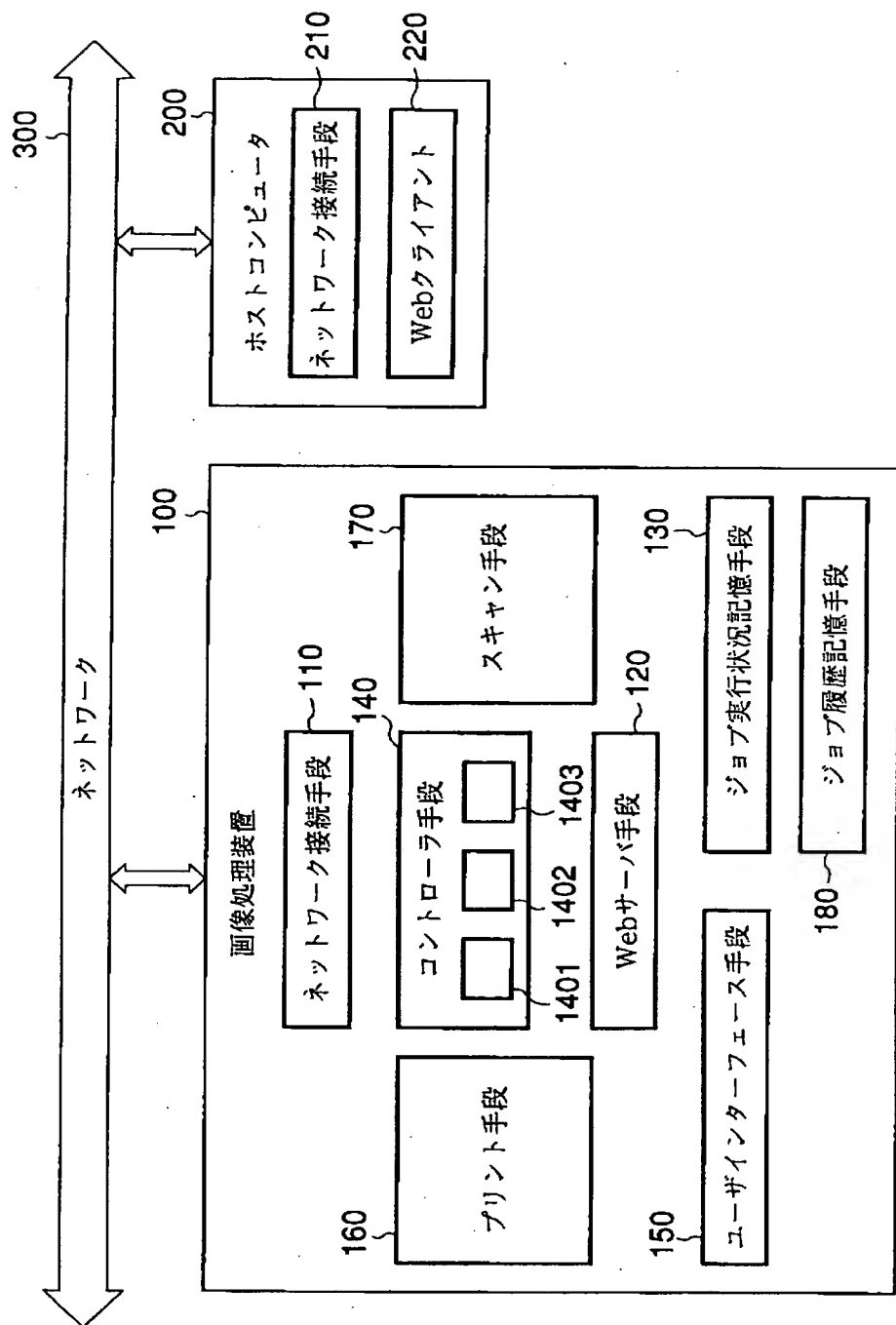
【図 1 3】

操作画面図である。

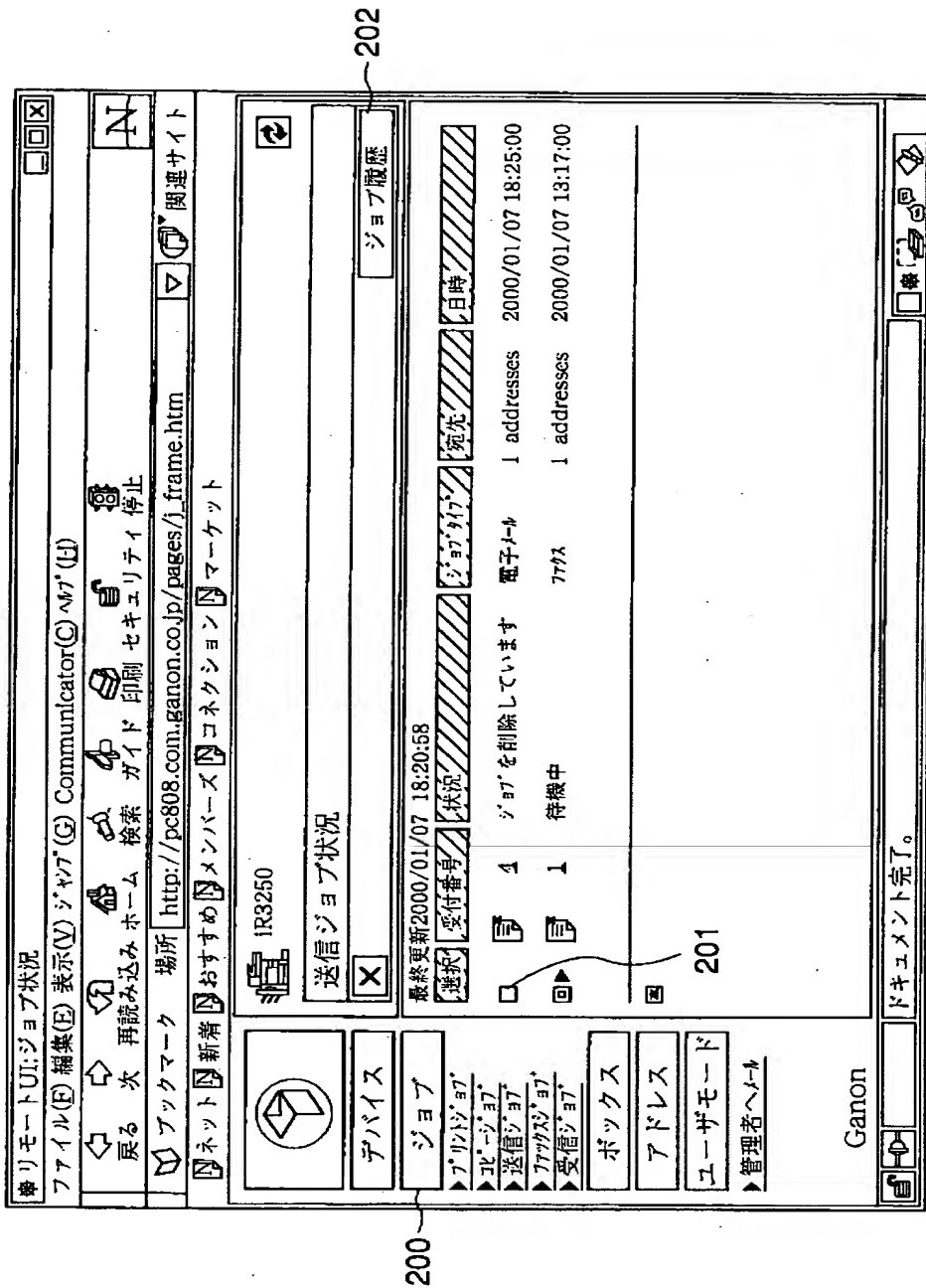


【書類名】 図面

【図 1】



【図2】



【図 3】

モリモートUI:ジョブ状況

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ショップ(G) Communicator(C) ヘルプ(H)

戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ停止

ブックマーク 場所 [http://pc808.com.ganon.co.jp/pages/j\\_frame.htm](http://pc808.com.ganon.co.jp/pages/j_frame.htm) 関連サイト

ネット(N) 新着(N) おすすめ(N) メンバーズ(N) コネクション(N) マーク

IR3250

U 戻る

送信ジョブ履歴

最終更新 2000/01/07 18:13:44

受付番号 (関連受付番号)	結果	開始時刻	終了時刻	ID	部	ジョブ	宛先	F-ポート	ページ	文字容量 (KB)	通信	終了
2(2)	OK	2000/01/07 13:18:56	2000/01/07 13:19:09			7772		1	1		ECM OK	

ジョブ

プリントジョブ

ジョブ

送信ジョブ

受信ジョブ

ボックス

アドレス

ユーザモード

管理者ヘルプ

Ganon

ドキュメント完了。

【図 4】

導リモートUI:ボックス	
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) シャワ'(G) Communicator(C) AM7'(H)	
戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ 停止	
ブックマーク	場所 <a href="http://pc808.com.ganon.co.jp/pages/j_frame.htm">http://pc808.com.ganon.co.jp/pages/j_frame.htm</a>
ネット(N) 新着(N) おすすめ(N) メンバーズ(N) コネクション(N) マーケット	
	IR3250
デバイス	U 戻る 404
ジョブ	"MEMORY RX BOX"
ボックス	プリント 転送 削除 設定
最終更新2000/01/07 18:14:44	
ユーザボックス ユーザボックス	選択 種類 ユーザ名 ページ 日付/時刻
アド레스	[ ] ファクス 0312345678 1 2000/01/07 13:16:27
ユーザモード	[ ] ファクス 0312345678 3 2000/01/07 13:17:19
管理者へメール	[E] 403 401 402
Canon	

【図 5】

リモートUI:ボックス

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ジャブ(G) Communicator(C) ヘルプ(H)

戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ 停止

ブックマーク 場所 [http://pc808.com.ganon.co.jp/pages/j\\_frame.htm](http://pc808.com.ganon.co.jp/pages/j_frame.htm) 関連サイト

ネット 新着 おすすめ メンバーズ コネクション マーケット

デバイス  
ジョブ  
ボックス  
ユーザボックス  
ジョブボックス  
アドレス  
ユーザモード  
管理者へメール

文書の転送

転送順を変更できます。  
[転送後文書消去する]をチェックすると、  
転送し終わった文書をボックスから削除します。

送信順  
[1]0312345678(000000005)  
転送後文書消去する  
宛先の設定  
宛先表 削除

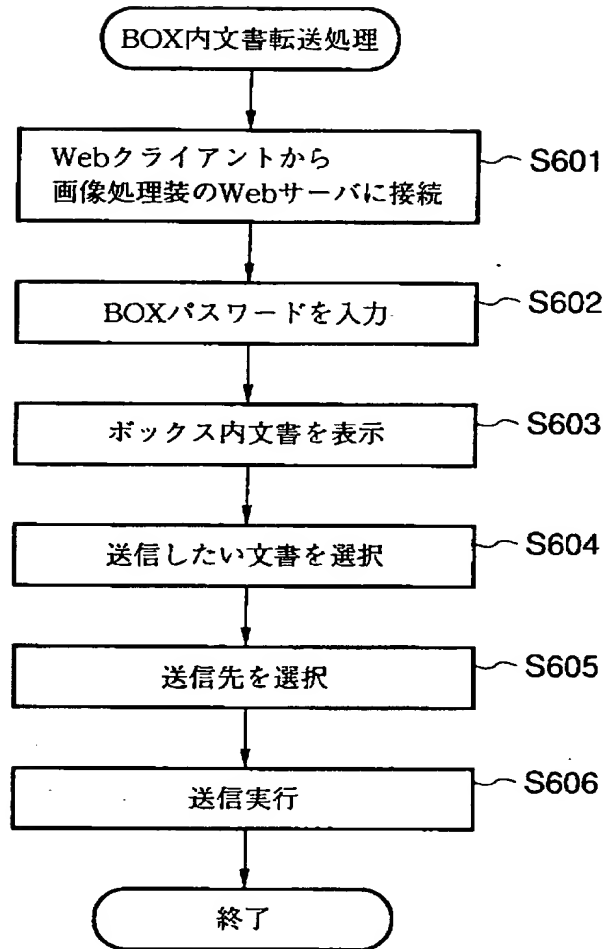
OK キャンセル

501 502

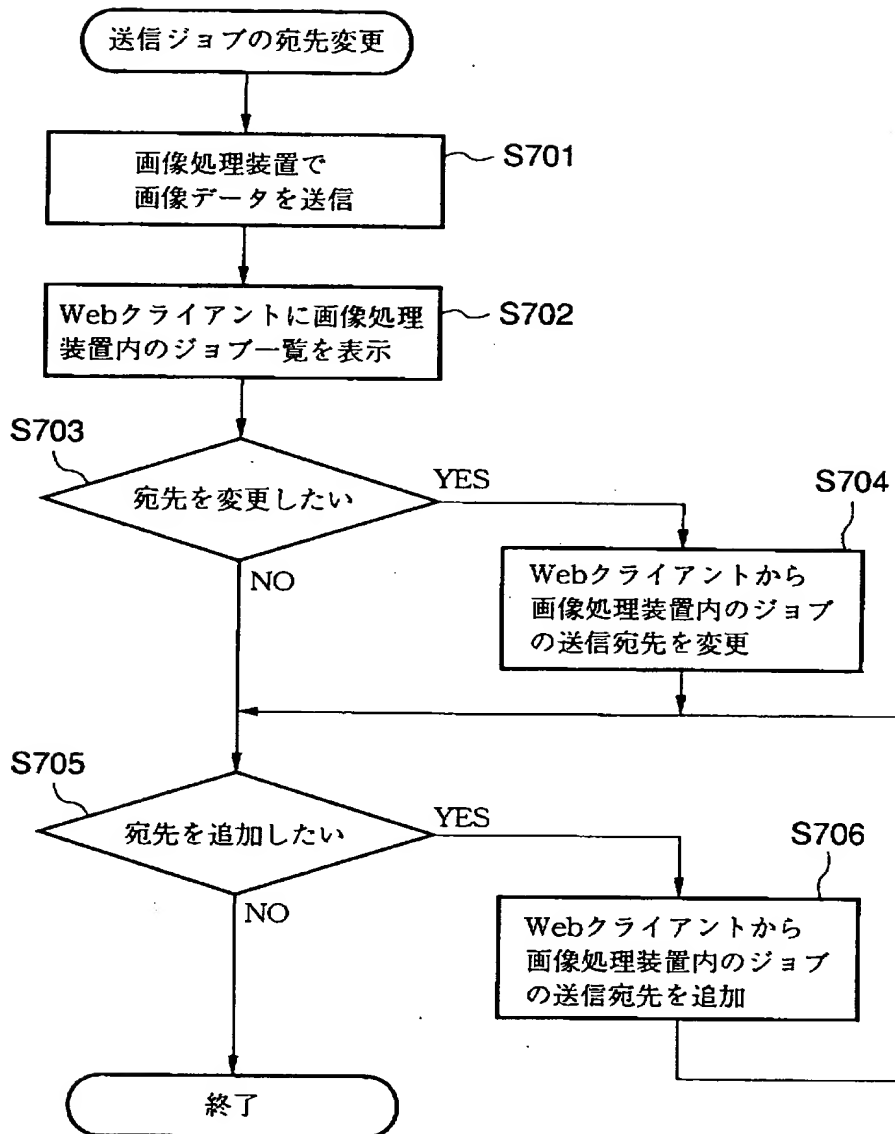
Ganon

ドキュメント完了。

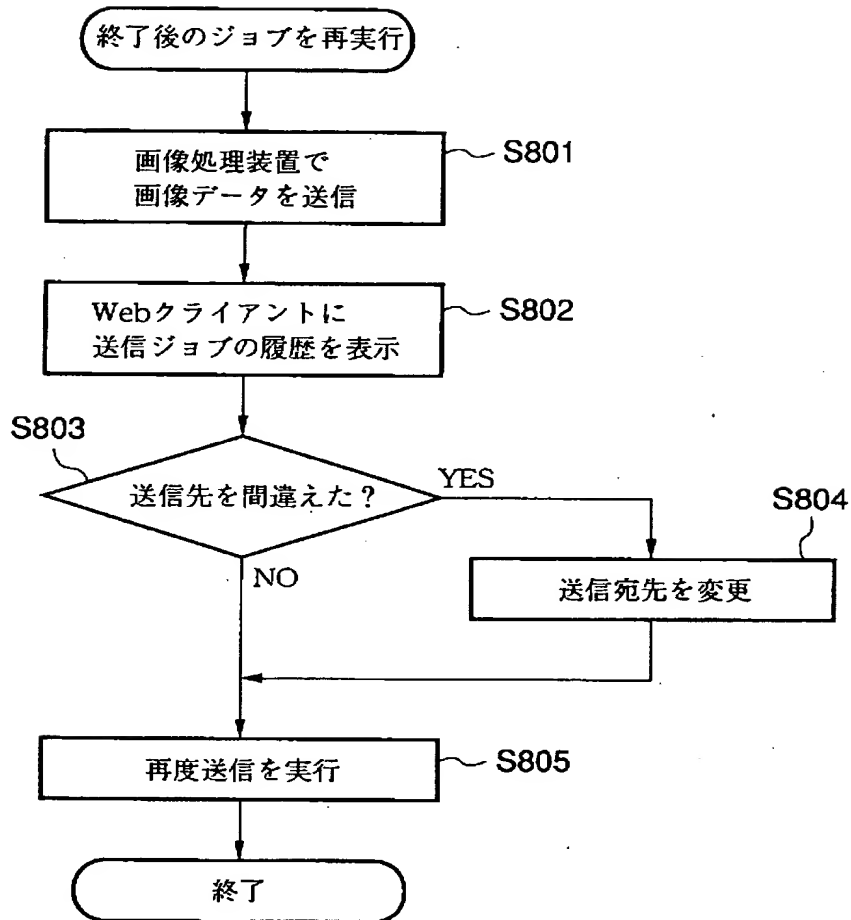
【図 6】



【図 7】

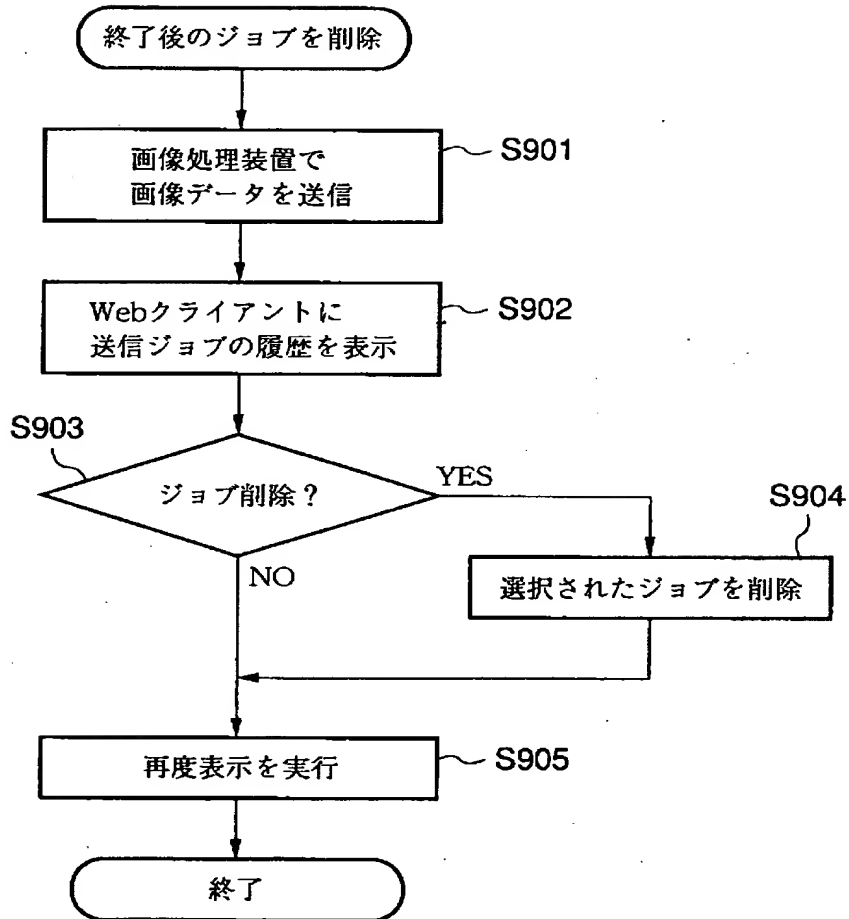


【図 8】

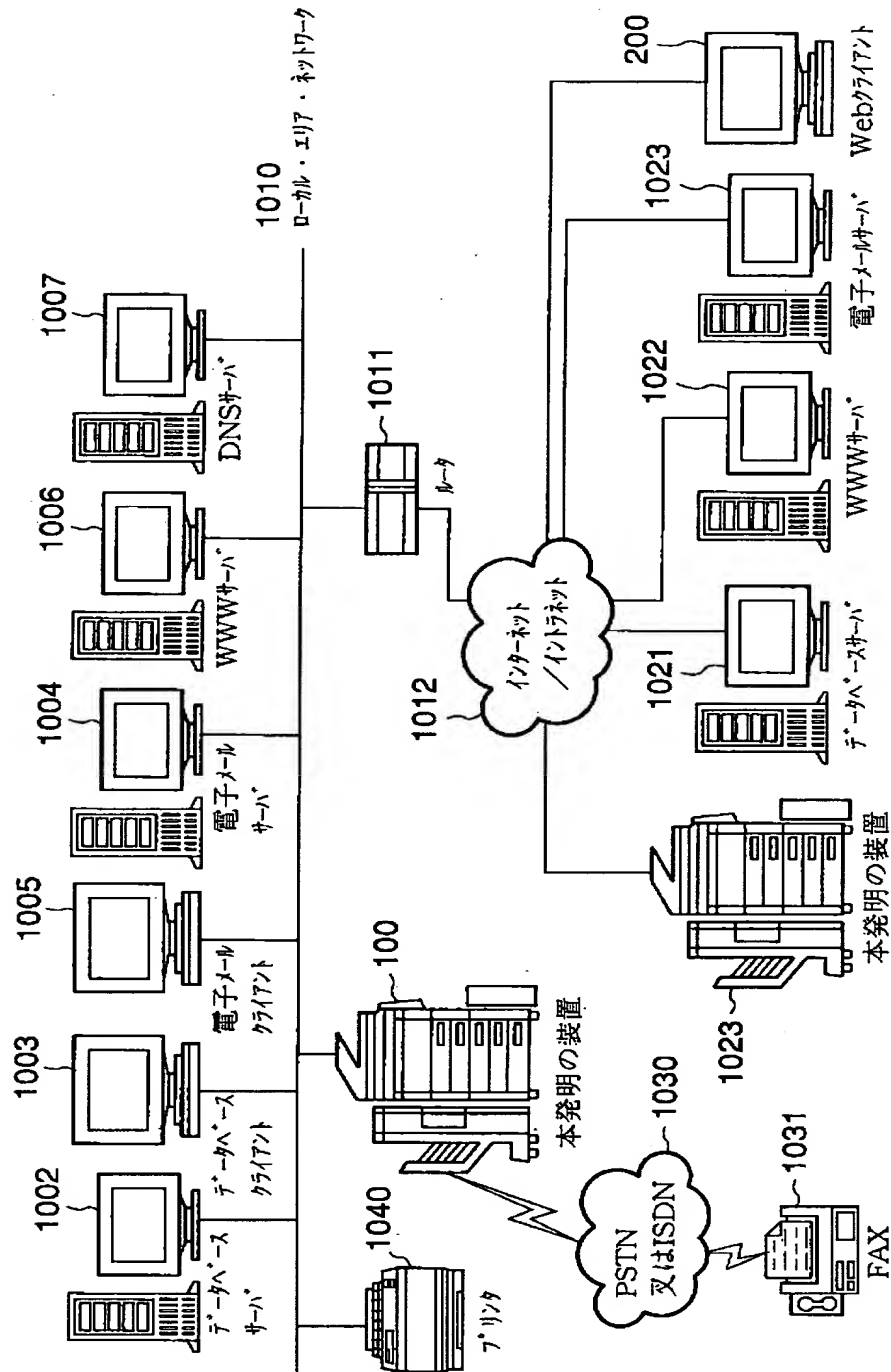




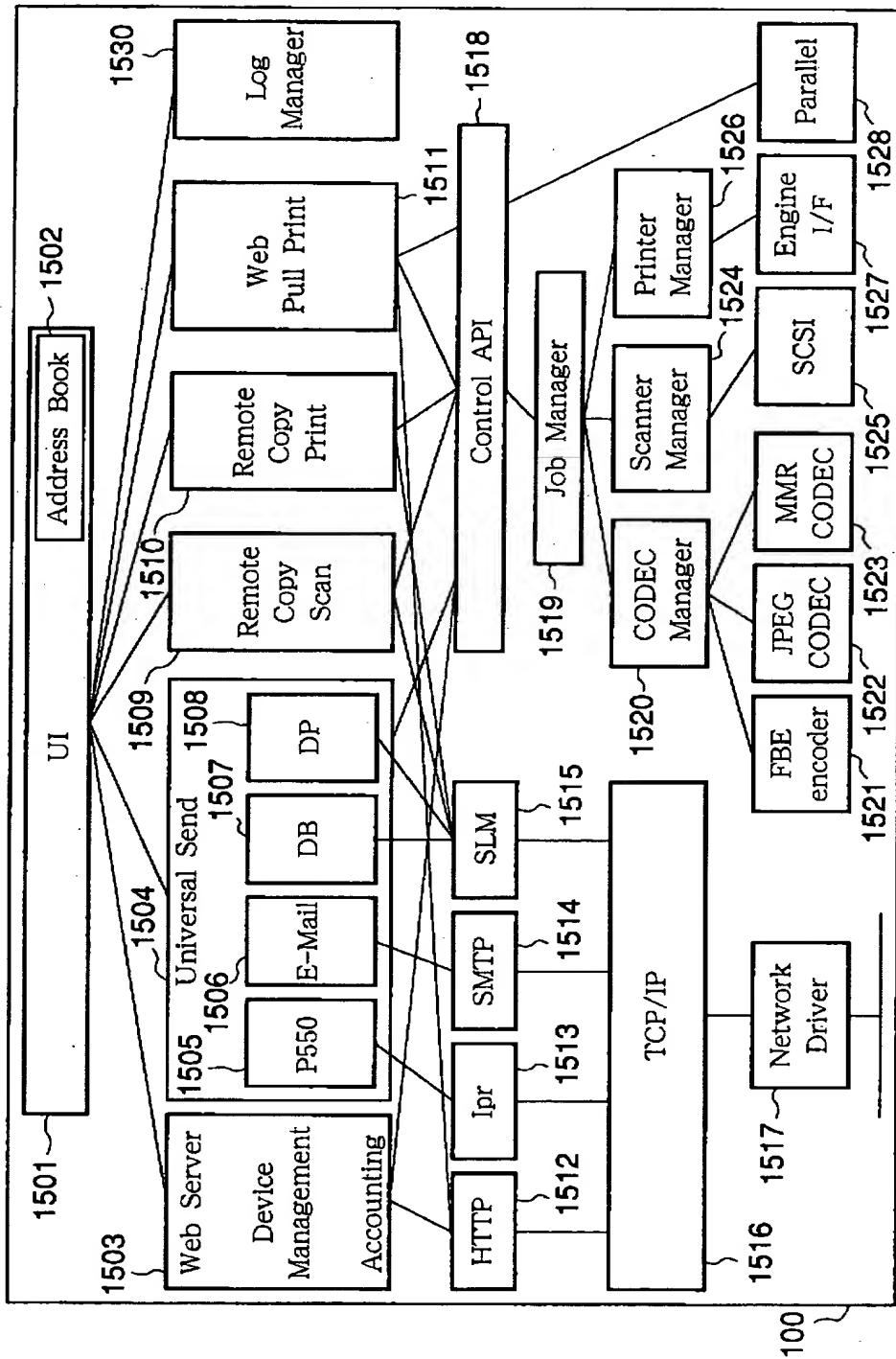
【図9】



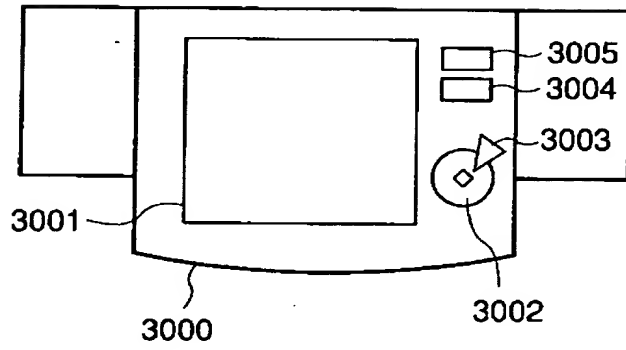
【図 10】



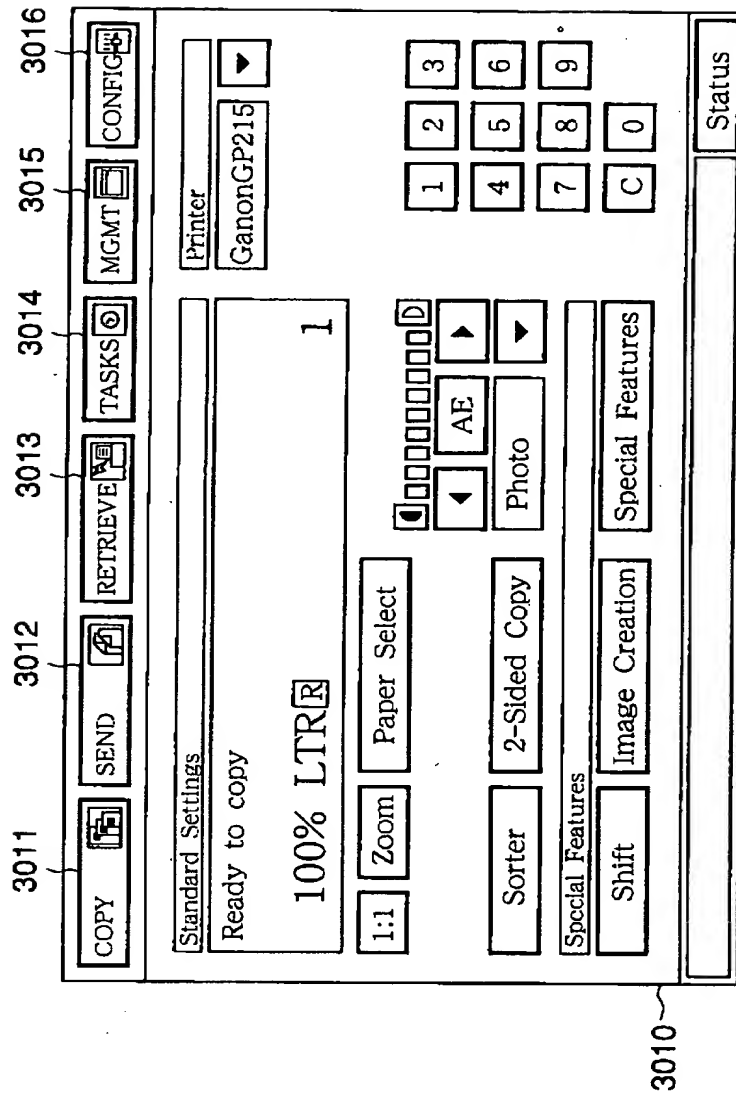
【図 1 1】



【図 1 2】



【図 13】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 遠隔クライアントから画像処理装置の履歴情報あるいは状態情報を操作する。

【解決手段】 ホストコンピュータ 2 0 0 が W e b サーバ 1 2 0 を有する画像処理装置 1 0 0 の U R L を指定すると、画像処理装置 1 0 0 は、状態画面をクライアント 2 0 0 に送信し、クライアントではそれを表示する。ユーザはその画面を参照して、所望の画像データをサーバから所望の宛先に送信したり、所望の送信ジョブを削除したり、その宛先を変更する指示をクライアントからサーバに送信する。画像処理装置 1 0 0 はそれを受けて、画像データを送信したり、送信ジョブを削除したり、宛先を変更する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
氏 名 キヤノン株式会社